

豊かな稔のために・・・

いもち病等の発生予察に

# NK-01型 電子式結露計

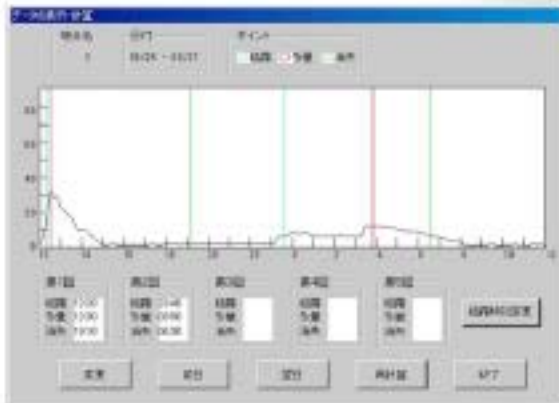
NISHIKOKI

・・・稲作において、もっとも注意しなくてはいけない病気、「いもち病」・・・

この病気は、冷害気象に伴って多発生することが多く、地域の広範囲の水田に大きな被害を及ぼしてきました。いもち病の発生には気象条件がもっとも強く影響しますが、冷害気象だけが被害を助長するものではありません。日々の天候の変化も病気の発生に影響を及ぼします。油断すると思わぬ被害をうけることになるのです。

## 【製品概要】

結露検出用紙を取付けた本体から露の消長を電気信号として取り出して、パソコンで簡単にデータの記憶・解析を行います。この結果から「いもち病」等の発生を予察することができます。



- 構成：電子式結露計本体 1式、データ記憶・解析ソフト付ノートパソコン 1式
- 仕様：【本体】秤量 100g(1g) 寸法 W355×H235×D188 重量 約5kg 電源 AC100V  
【パソコン】ノートPC (データ記憶・解析ソフト付) 電源AC100V
- 特長：○ 観測データから、水滴の付着開始時刻、多量（10g）付着時刻、降雨開始時刻、水滴消失時刻を自動的に解析します。また、結露状態の推移も表示及びプリントアウトをすることが出来ます  
○ 0.1mmの降雨でも判定が可能であり、その水滴の消長が明らかに記録出来ます。  
この記録から「いもち病」など植物病原菌の感染と、水滴保持期間等との関係を検討することが出来ます

製造・販売（青森・八戸・弘前）  
[www.nishikoki.co.jp](http://www.nishikoki.co.jp)

本社：青森市新町二丁目 6-20  
株式会社 西衡器製作所

tel. 017-723-1311  
fax 017-723-2368